



H3 Dynamicsは、デジタル化、自律運航関連のソリューション、水素駆動による自律飛行の推進という3段階のアプローチで、脱炭素かつ先進的なエアモビリティを実現します。小型ドローンから大型航空機のプラットフォームまで、まずは周辺市場から、15年かけて事業をグローバルに拡大していきます。

H3Dynamicsの3つのシーケンス

1. センサー/AI
2. 貨物/ロジスティクス
3. 旅客フライト

## 社会が抱える問題とその解決策

炭素の排出は、現代における最大で複雑な課題の一つです(排出内訳のうち、建設39%、運輸24%)。日本では、「Society 5.0」と「炭素ゼロ戦略」をもとに変革が促されています。

都市とモビリティを持続可能なものにしつつ、私たちのライフスタイルを維持するにはどうすればよいのでしょうか？

H3Dynamicsは、AI解析を用いたインフラ外観検査からスタートします。

80%の時間短縮、50%のコスト削減、作業者のリスク0、精度20%向上を脱炭素で実現します。

## 自社・製品の強み

- 小型から大型まで広く無人航空機に適応した水素推進システム(15年にわたり蓄積されたノウハウ)
- 大企業と共同開発したAI検査力(500件以上のインフラを精査)
- 無人航空機向けオープンプラットフォームとしての自動化とテレロボティクス

## ビジネスモデル

1. 水素システムの統合=システムの直接販売+エンジニアリングサービス
2. AI=プラットフォーム利用料+プロジェクト運用

## Hack Osakaの参加目的

- 日本あるいは海外における日本企業とのビジネス提携や共創
- 関係者や自治体へ、2025年の大阪・関西万博に向け、水素燃料電池ドローンを紹介
- 日本市場への進出・拡大(おそらく、H3 Dynamics日本拠点設立の発表)

創立年	2015
ウェブサイト	<a href="http://www.h3dynamics.com">www.h3dynamics.com</a>
所在地	シンガポール
資金調達	シリーズB
世界市場での実績	日本、フランス、タイ、インドネシア、アメリカ、ドイツ、ノルウェー、カナダ、オーストラリア、メキシコ、ブラジル
日本語対応	○ (Hack Osaka 2022商談会では逐次通訳対応)